

青年塾は、志ある人々が集い、学び合いながら人間力と実践力を高める場です。青年塾東海クラス岐阜地区講座では、経営者をはじめ多様な立場の参加者が、講話や企業発表を通じて気づきと交流を深めます。今回は株式会社濃飛葬祭の式場【のうひグリーンホール山手】にて開催いたします。

# 不安を安心に変える、志に学ぶ

2026年4月12日(日)  
9:00 - 17:00 (※8:45受付開始)

会場

〒505-0027  
岐阜県美濃加茂市本郷町6-7-30

のうひグリーンホール山手



アクセス

- 東海環状線「美濃加茂IC」より車で約6分
- JR美濃太田駅よりタクシーで約7分

参加費

昼食付き 3,000円(税込)

昼食無し 2,000円(税込)

お支払い

- 現金 (当日お釣りの無いようにお支払いをお願いします)
- 銀行振込

振込先：北國銀行 (ホッコクギンコウ)  
支店名：問屋町支店 (1 1 7) 口座種別：普通  
口座番号：59601  
口座名：青年塾大志伝承式金沢  
セイネンジュクタイシデンショウシキカナザワ

お申込み

こちらのQRコードまたはお問い合わせ先にご連絡をお願いします。

お申込み締切：4月11日(土)まで



開講式 9:00~9:30

第1部 9:30~10:00

株式会社濃飛葬祭 鈴木ゆかり氏  
実践報告

第2部 10:00~12:00

体験型学習【模擬葬儀】  
濃飛葬祭の人に寄り添う志

昼食 12:00~12:50

第3部 12:50~13:50

大禅寺住職 根本一徹氏  
特別講話

第4部 13:50~14:20

青年塾3期生 大久保守晃氏  
実践発表

第5部 14:20~14:50

青年塾5期生 鈴木中人氏  
実践報告

第6部 15:00~16:00

株式会社濃飛葬祭 鈴木哲馬氏  
特別講話

第7部 16:00~16:40

青年塾塾長 上甲晃氏  
特別講話

閉講式 16:40~17:00

※一部の講座のみのご参加も可能ですが、参加費は変わりません

## 本講座の昼食について

本講座では、昼食としてジーバーFOODのおむすびと豚汁をご用意いたします。

ジーバーFOODは、地域の“じーちゃん・ばーちゃん”が食の作り手となり、手づくりの料理を通して地域に元気とつながりを生み出す取り組みです。おむすびや豚汁など、どこか懐かしくあたたかい食事を提供しながら、人と人が自然につながる“もうひとつの食卓”を地域に育てていきます。濃飛葬祭では、この活動に共感し、「みのかも街仲食堂 by ジーバーFOOD」のサポート企業として参画いたします。食堂は2026年5月末のオープンを予定しており、地域の皆さまが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指しています。

地域の想いが込められたあたたかい味を、ぜひご堪能ください。

**ジーバーFOOD**

## 第3部 特別講話 大禅寺住職 根本一徹氏



臨済宗妙心寺派 大禅寺住職。禅の教えをもとに、人の心のあり方や生き方について伝える活動を行っておられます。寺院での法務に加え、坐禅会や講演会の開催、執筆活動などを通して、仏教の教えを現代の生活や仕事に活かす視点を発信されています。企業や地域での講話の機会も多く、さまざまな立場の方に向けて学びの場を提供されています。

また、自殺を考える方に寄り添う活動を長年にわたり続けておられ、電話や対面での相談を通じて、多くの方の声に向き合ってこられました。

苦しみの中にある方の言葉に耳を傾け続けてきた経験は、いのちと真摯に向き合う実践として評価され、各種メディアでも紹介されています。こうした活動を通して培われた視点は、単なる知識にとどまらず、日々の判断や人との関わり方にも通じるものとして、多くの共感を集めています。特別講話では、これまでのご経験をもとに、仏教の視点から「いのち」や「生き方」、日々の判断や人間関係のあり方についてお話しいただきます。

## 第7部 特別講話 青年塾 塾長 上甲晃氏



青年塾 塾長。志ネットワーク代表。1941年大阪府生まれ。京都大学卒業後、松下電器産業（現パナソニック）に入社。広報・営業を経て、松下幸之助氏が創設した松下政経塾にて理事・塾頭、常務理事・副塾長を歴任し、長年にわたり人材育成に携わってこられました。

その後、志ネットワークを設立し、1997年に青年塾を創設。現在も人材育成活動を全国で展開されています。「志の高い人材の育成」を理念に掲げ、多くの若者や経営者に影響を与え続けています。

また、『志のみ持参』『志を教える』『志高く生きる』など多数の著書を執筆されており、人としての在り方や生き方についての考えを広く発信されています。

本講座では第7部にてご登壇いただき、これまでの歩みや活動をもとにお話しいただきます。